

事業概況

情報機器事業

オプト事業

メディカル＆グラフィック事業

8

株主通信
2010年
秋号



業績の概要

オフィス分野: MFPでは、「bizhub (bizhub)」シリーズのカラー機及びモノクロ機の販売が、国内外の主要市場において好調に推移し、販売台数は前年同期を大きく上回りました。また新興国市場専用機も、中国市場を中心にシェア拡大に寄与しました。

プロダクションプリント分野: これまで販売してきた「bizhub PRO (bizhub PRO)」シリーズに加え、デジタル商業印刷での本格展開を目指し、新ブランド「bizhub PRESS (bizhub PRESS)」を立ち上げました。そして、新たにその最上位機種となる「bizhub PRESS C8000」を発売しました。

ディスプレイ部材分野: 夏以降、液晶パネルメーカー各社の生産調整の影響を受ける中、VA-TACフィルム(視野角拡大フィルム)の販売数量は前年同期を下回りましたが、当社が強みを持つ薄膜タイプ、超広幅のTACフィルムが牽引し、全体の販売数量は前年同期を上回りました。

メモリー分野: 光ピックアップレンズは、販売数量は前年同期比で増加しましたが、パソコン向けやゲーム機向けなど顧客先での生産調整の影響を受け、期待ほどの伸びとはなりませんでした。ガラス製ハードディスク基板は高記録密度製品が堅調に推移し、販売数量も前年同期比で、大幅に伸長しました。

画像入出力コンポーネント分野: 最終市場での市況に減速感が見られ、総じて低調に推移しました。

ヘルスケア分野: デジタルX線画像診断領域では、デジタル入力機器・システムやサービスソリューションビジネスの販売拡大に注力しました。デジタル入力機器の販売台数は、小規模医療施設向けの小型CR「REGIUS (レジウス) MODEL 110」が牽引し、国内外市場とも前年同期を上回りました。

印刷分野: 市況低迷の中で投資マインドの冷え込みが続き、市場環境が厳しい中、オンデマンドデジタル印刷機などの販売拡大に取り組み、販売台数は前年同期を上回りました。

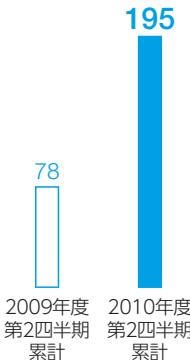
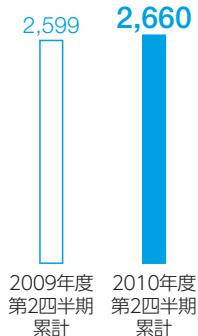
売上高構成比

売上高(億円)

営業利益(億円)

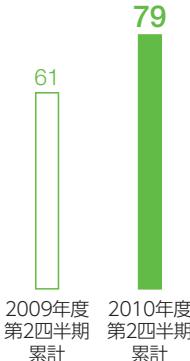
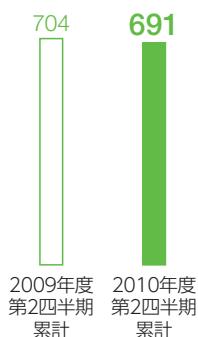
主要製品

使われているコア技術



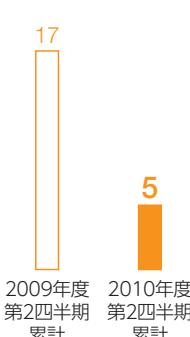
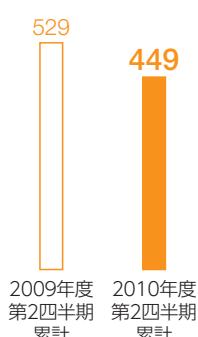
- オフィス用MFP
- レーザープリンター
- プロダクションプリンティング機

機器:
画像処理、プロセス、搬送
トナー・感光体:
機能性有機材料合成、
機能性有機材料設計、機能性微粒子形成



- TACフィルム(液晶偏光板用保護フィルム)
- 光ディスク用ピックアップレンズ
- HDD用ガラス基板
- マイクロカメラモジュール

TACフィルム:
機能性有機材料設計、機能性微粒子形成、
製膜コーティング
光学コンポーネント:
成型、表面加工、光学設計、精密駆動
HDD用ガラス基板:
表面加工



- デジタルX線画像読み取り装置
- 乳房X線撮影装置
- 画像診断ワークステーション
- デジタル色校正システム
- オンデマンド印刷システム

医療機器:
機能性微粒子形成、
製膜コーティング(CRシンチレータ)、
画像処理

※ 第2四半期累計期間: 4月～9月